

最優秀作品賞
受賞
作品集
2019

こどもたちの
未来のために…

株式会社ファミリーマート
<https://www.family.co.jp>

ファミマ ありがとう



ファミリーマート
ありがとうの11th
手紙^{でがみ}コンテスト

文部科学省後援事業



contents*

ファミリーマート ありがとうの手紙コンテスト2019

今年度11回目となる本コンテストは、夏休みの前に全国19,738校・640万児童に向けてご案内し、結果6月1日から9月30日の約4ヵ月の間で、応募総数40,130通にも上る心あたたまる作品をいただきました。甲乙つけがたい力作ぞろいの中から選ばれた、全国7つのブロックを代表する最優秀作品賞全21作品、審査員特別賞全35作品、学校・団体賞全7校・団体をご紹介します。なお、本コンテストの詳細報告は、ファミリーマートのホームページでもご紹介させていただいております。
(<https://www.family.co.jp/arigatou2019>)

- 最優秀作品賞受賞作品紹介…………… 4
- 審査員特別賞受賞作品紹介…………… 25
- 学校・団体賞受賞校・団体紹介…………… 32

こども支援活動

ファミリーマートの社会貢献テーマである「こども支援」について、代表的な活動事例をご紹介します。これらの次世代を育成するさまざまな活動を通して、家族を、地域社会を、より良い将来を応援していきます。

- その他の活動…………… 33

実施概要

応募期間 2019年6月1日(土)～9月30日(月)

応募資格 小学校1年生～6年生

審査 一次、二次、最終審査会と3回の審査を経て決定

最終審査会 2019年11月29日(金)

最優秀作品賞 低学年部門(1・2年生) 各ブロック1名 合計7名
中学年部門(3・4年生) 各ブロック1名 合計7名
高学年部門(5・6年生) 各ブロック1名 合計7名
※全国を7ブロックに分割し、審査を実施

審査員特別賞 各ブロック5名 合計35名

学校・団体賞 各ブロック1校・団体 合計7校・団体

応募総数 40,130通

主催: 株式会社 ファミリーマート

後援: 文部科学省

全国市町村教育委員会連合会／全国連合小学校長会／
全国小学校国語教育研究会／全国小学校道徳教育研究会／
全国小学校生活科・総合的な学習教育研究協議会／
生活科教育研究会／株式会社 教育新聞社

ご報告にあたって

この度は、『ファミリーマート ありがとうの手紙コンテスト2019』に作品応募をいただき、誠にありがとうございました。今年度も、全国から昨年を超える40,130通のご応募をいただきました。本コンテストは2009年より、地域社会と共にご子どもたちの成長を応援する取り組みとしてスタートいたしましたが、11年の長きにわたり連続して開催してこられたのは、ひとえに皆さまからのご厚情の賜物と心より御礼申し上げます。授業の一環として、あるいは夏休みの宿題として積極にご活用いただいた先生方、保護者の皆さまをはじめ関係各位に改めて感謝申し上げます。

本受賞作品集は、厳正な審査のもと「最優秀作品賞」に選ばれた21作品を中心に構成しております。こどもたちの文章には、家族、友人、先生、近所の方々、物や動物などへの愛情が優しく、こまやかに表現され、それぞれの思いが伝わってくる素晴らしい作品ばかりでした。一人ひとりの思いが込められた心あたたまる手紙をお読みいただき、こどもたちの豊かな感性に触れていただければ幸いです。

「ありがとう」という言葉は、感謝を伝えるだけでなく、伝えられた人も幸せな気持ちにしてくれる素晴らしい言葉です。本コンテストが、未来を担うこどもたちの豊かな心を育て、感謝の気持ちを大切に「ありがとう」という言葉を素直に言えるような社会の実現に貢献できれば嬉しく思います。

本コンテストを通じて、皆さまの地域がこの素晴らしい言葉であふれることを切に願い、今後も皆さまに愛されるような企画として回を重ねていきますように努力して参りたいと存じます。

令和2年 1月 吉日

株式会社 ファミリーマート
代表取締役社長

澤田 貴司

ありがとう



審査員 講評



審査員長
池上 彰
ジャーナリスト

これまでの10回を振り返ると、ほほえましくこどもらしい手紙に心を動かされて、作品を選んでいられることもありましたが、今回は、応募総数が増えたこともあるのか、文章力が格段にあがっており、結果として観察力、表現力が見事な作品を選ぶことができたという手ごたえがありました。反面、優れた作品の中から入賞作品を選ばなくてはならないという悩みもあるのですが、読んでいて思わず涙が溢れ出てきそうになる心うたれる作品も多かったですね。次回も素晴らしい手紙に出会えることを楽しみにしています。



審査員
小峰書店
代表取締役社長
小峰 広一郎

今回2回目の審査を務めさせていただきましたが、前回同様全ての作品からこどもたちが純粋な気持ちで精一杯生き、成長しているのを感じ取ることができました。日常生活の何気ない出来事からも、改めて感謝の気持ちを手紙に表すことで、いろいろな気づきを得ていることがわかります。そして、その気づきは明るく前向きな気持ちにつながり、家族や友人など周りの人に幸せの輪が広がっていくのだなと、「ありがとうの手紙コンテスト」の意義を改めて感じた次第です。これからも「ありがとう」から始まる、たくさんの素晴らしい作品が生まれてくることを楽しみにしています。



審査員
小説家、童話作家
日本ペンクラブ
「子どもの本」委員会メンバー
野中 柊

今回初めて、このコンテストの審査員を務めさせていただくことになり、こどもたちの手紙を読んで、その生き生きとした表現力に、私自身、作家として、とてもよい刺激を受けたように思っています。日々の事柄を見つめるまっすぐなまなざし、ユーモラスな想像力、大好きな人や物への素直な感謝の心、そして、伸びやかな文章に触れ、微笑ましく感じると同時に、気づかされたこと、学んだことが多々ありました。私も今、素敵な手紙を書いてくれたこどもたちに「ありがとう」の気持ちでいっぱいです。



審査員
児童文学作家
日本児童文学者協会所属
廣嶋 玲子

私にとって、今回初めての最終審査会となりました。こどもたちの手紙には、素直な気持ち、家庭の事情、日々の暮らしぶりなどがあふれていて、まるでさまざまな映画を見ているかのようでした。感動したり、ふきだしたり、文章力や工作としてのセンスに驚いたり。とにかく新鮮で、「次はどんな子がどんな思いで書いたのだろう?」と、わくわくしながら読み進めていきました。優しさに満ちた内容もたくさんあり、「ああ、日本って、まだまだ捨てたもんじゃない」と思えたことも、大きな喜びでした。手紙を送ってくれたこどもたち、本当にありがとう!!!



審査員
株式会社ファミリーマート
取締役 専務執行役員
中出 邦弘

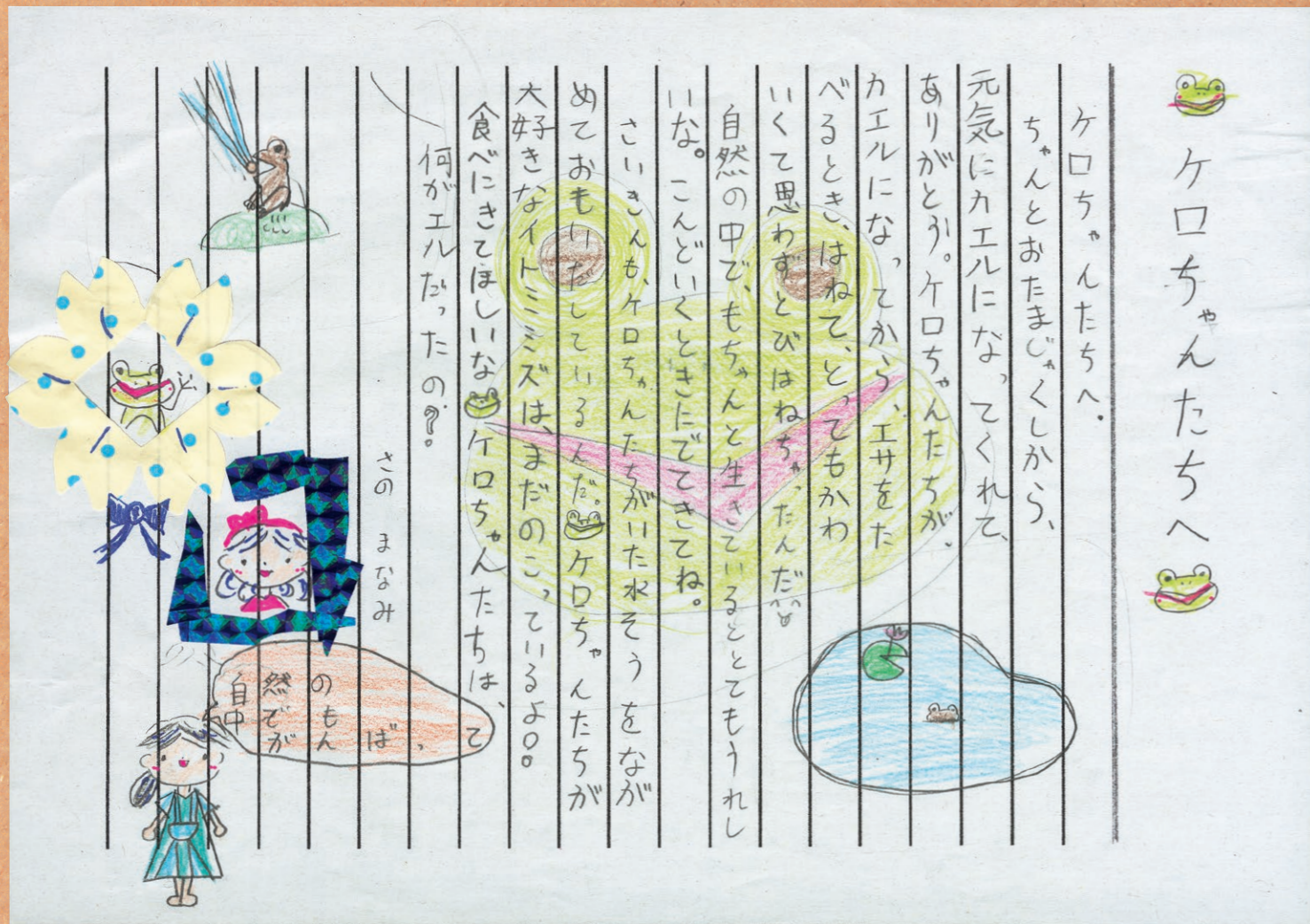
「ファミリーマートありがとうの手紙コンテスト」は、2019年度から文部科学省後援事業となりました。この場を借りて、10年の長きにわたりご協力いただきました先生方、保護者の皆様、そして審査員の先生方に御礼申し上げます。また、昨年を上回る40,130通の応募をいただいたことに関係者一同、心より感謝申し上げます。読ませていただいた作品の中には、自らが辛い思いをしながらもきちんと相手を思いやり、感謝の気持ちを伝えている手紙があり、このような豊かな感性を持つこどもたちにあたたかい手を差し伸べたい気持ちがわきあがった次第です。ファミリーマートでは昨年より「ファミマこども食堂」を各地で開催しています。地域のこどもたちのコミュニケーションの機会を設け、本コンテストとともに広げ、こどもたちが素直に「ありがとう」と言える環境をつくるお手伝いを社会的使命をもって取り組んで参りたいと考えております。次年度もよろしくお願いいたします。

校長先生へ
いつも本をかしてくれて、ありがと、ふざい
います。校長先生の本は、やさしい本がた
くさんあって、読むとやさしい気持ちになるの
で、ぼくは大好きです。
ぼくは本がすきなもので、一年生のとき、校長
室の前に、たくさん本があるのを見て、気にな
りました。でも、どうやってかりたいの
かわからなくて、なかなかかりに行けませ
んでした。先生にかり方を聞いて、がんばって
校長先生に
「本をかしてください」
と言って本をかりてからは何回もかりに行け
るようになりました。そして、読んだことの
ない本をかりるのが、とても楽しみになり
ました。ぼくは、校長先生の本をかりるのも、
楽しめただけけれど、校長先生のお話しても、
すぐ楽しめです。だから、こんどはぼくが
すきな本を校長先生にしょうかりするので、
またいっしょに本のお話をしてください。
よしすけより



北海道・東北ブロック
最優秀作品賞 低学年の部
こせき よしすけ
小関 義恭さん(2年)
白石市立白石第一小学校

審査員から * 校長先生のおかげで読書の楽しさを知ることができた感謝を綴る手紙。勇気を出して声をかけたエピソードを交え心の動きをこまやかに表現している。



ケロちゃんたちへ

ケロちゃんたちへ、
 ちゃんとおたまじゅくしから、
 元気にカエルにな、てくれて、
 ありがとう。ケロちゃんたちが、
 カエルにな、てから、エサをた
 べるときは、はねて、と、ちもかわ
 りく、て思わすと、びはねち、たんた、
 自然の中で、もちゃんと生、き、こ、い、る、と、と、も、う、れ、し
 いな。こんど、いく、と、ま、た、ご、て、さ、こ、ね。
 さ、い、き、ん、も、ケロ、ち、ん、た、ち、が、い、た、水、そ、う、を、な、が
 め、て、お、も、い、た、し、こ、い、る、ん、だ、ケロ、ち、ん、た、ち、が
 大好きなイトミミズは、まだのこ、こ、い、る、よ、。
 食べにきてほしいな、ケロちゃんたちは、
 何がエル、た、た、の、？



北海道・東北ブロック

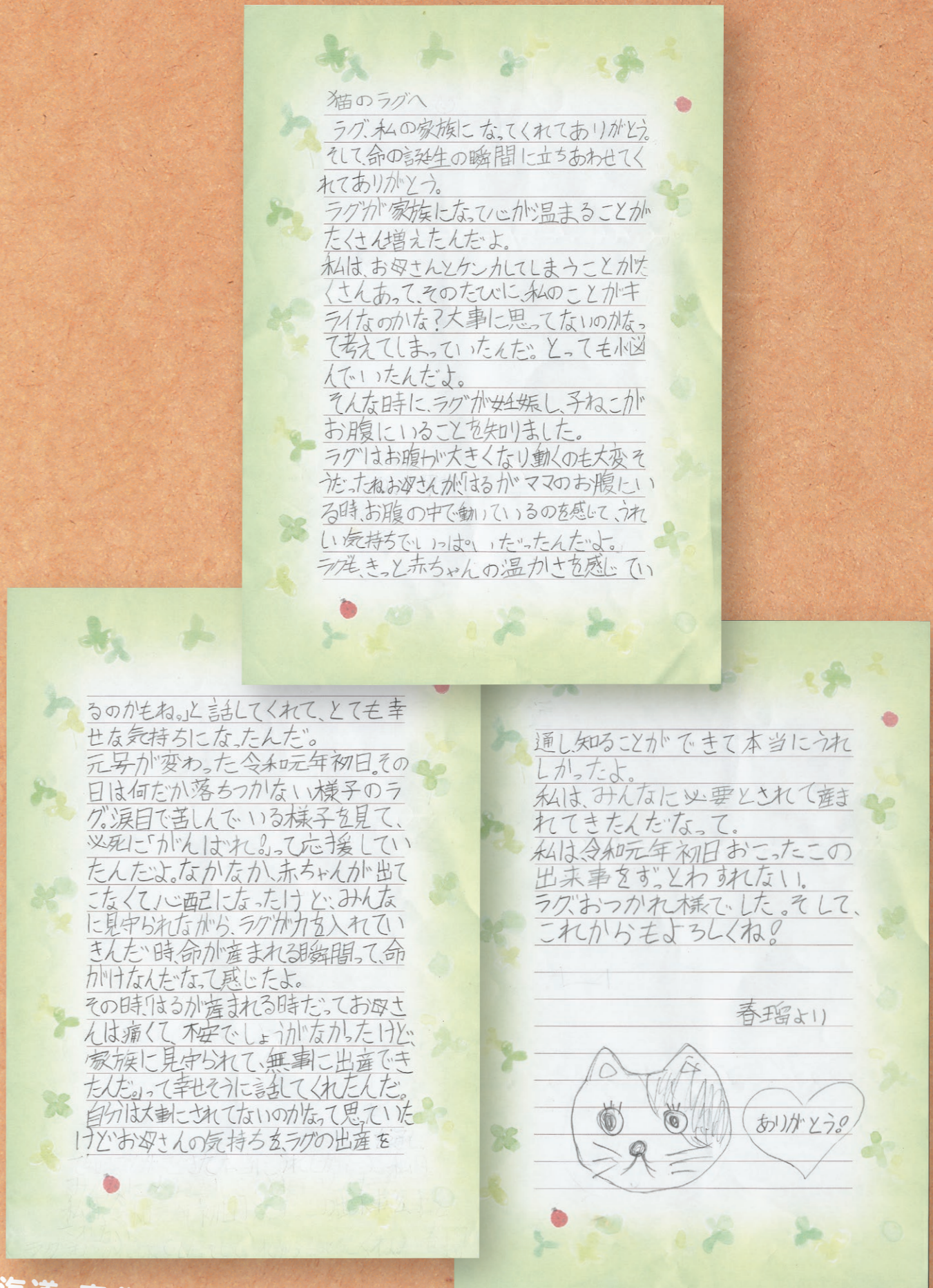
最優秀作品賞

中 学年の部

佐野 茉波さん(3年)
 仙台市立宮城野小学校

審査員から

カエルの成長を見守る、愛情深い気持ちが描かれている。自然へ戻っていく命を大切に思う気持ちが見える。ユーモラスな最後の一文もよい。



北海道・東北ブロック

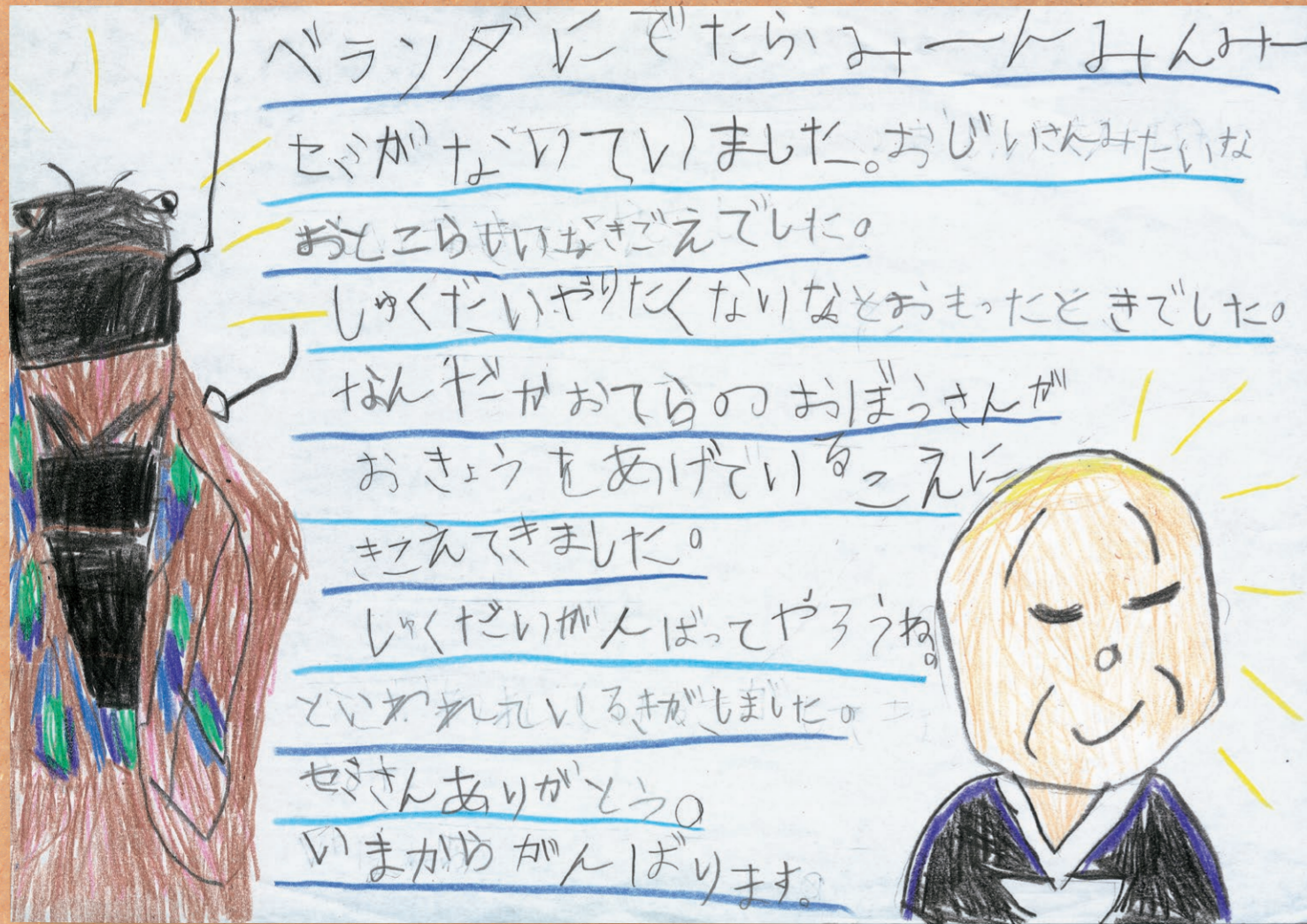
最優秀作品賞

高 学年の部

三丁目 春瑠さん(5年)
 酒田市立鳥海小学校

審査員から

子猫誕生の瞬間を見た経験から、自分に注がれている愛情までを思い感謝の気持ちを綴っている深い作品。母への感謝が丁寧に書かれている。



関東1 ブロック

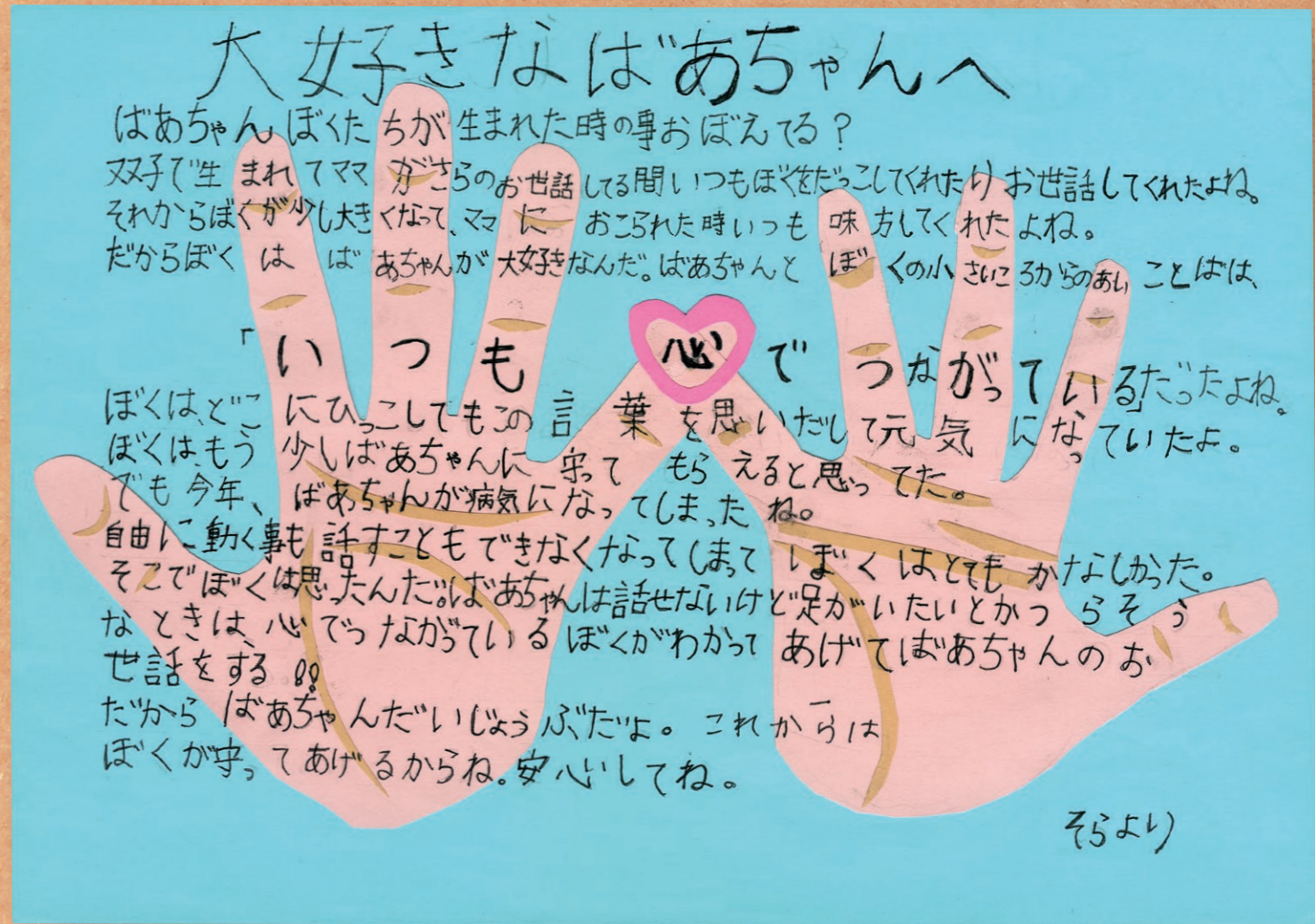
最優秀作品賞

低
学年の部

ささき ゆうま
佐々木 悠真さん(1年)
海老名市立東柏ヶ谷小学校

審査員から *

ユニークでインパクトのあるイラストの意味が、読み進めていくとわかる構成。
セミの鳴き声をお坊さんのお経に比喻する個性的な感性が秀逸。



関東1 ブロック

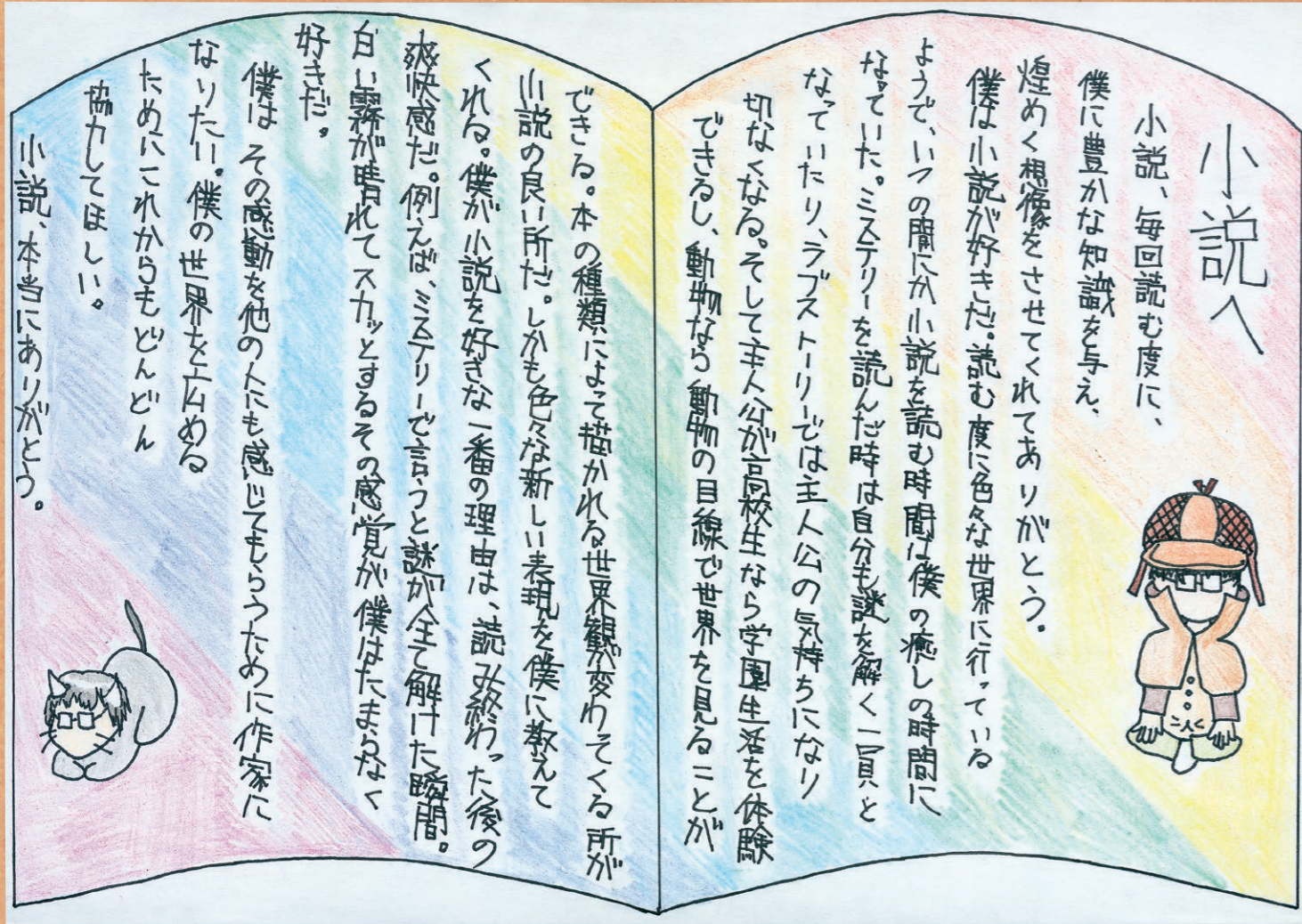
最優秀作品賞

中
学年の部

えじり そら
江尻 蒼空さん(4年)
川崎市立古川小学校

審査員から *

双子の自分たちを誕生からずっと見守ってくれた祖母への感謝を綴っている作品。
心がつながっている様子を手紙全体でうまく表現している。



小説へ

小説、毎回読む度に、
僕に豊かな知識を与え、

煙めく想像をさせてくれてありがとう。

僕は小説が好きだ。読む度に色々な世界に行っている

ようで、いつの間にか小説を読む時間は僕の癒しの時間にな

なっていた。ミステリーを読んだ時は自分も謎を解く一員とな

っていったり、ラブストーリーでは主人公の気持ちになリ

切なくなる。そして主人公が高校生なら学園生活を体験

できるし、動物なら動物の目線で世界を見ることもが

できる。本の種類によて描かれる世界観変わってくる所が

小説の良い所だ。しかも色々な新しい表現を僕に教えて

くれる。僕が小説を好きな一番の理由は、読み終わった後の

爽快感だ。例えば、ミステリーで言うと謎が全て解けた瞬間。

白と霧が晴れてスカッとするその感覚が僕はたまになく

好きだ。

僕はその感動を他の人にも感じてもらうために作家にな

りたい。僕の世界を広める

ためにこれからどんどん

協力してほしい。

小説、本当にありがとう。



どうぞのやさしいをつくるひとへ No. _____ DATE _____

どうぞのやさしいはママとおさんぽやくるまでとおるみちにあります。
でんしゃがよとおるのでおとうとがたいせきなみちです。
せんろぞいれたたえほがならびそのとなりちいさな
はたけがほつとあります。みちにはきのベンチが
たぐんあるのでおべんとうをたべながらでんしゃに
あはさつをします。なつになるとはたけのまへのベンチ
にみどりのかごが置いてあります。
やさしいでゆうにどうぞと、ダンボールのきれまじに
かいてあります。かごのなかにはきゅうりやおくら
なすがはいていることがあります。
せつかくたかいただいてたべてみようか。いたたま
ありがとうございました。ママがいて、やさしいを
いたたきました。
やさしいとれも、スーパーでうてるやさしいと、みたぬが
ちかびます。こけぬのしほのようじまがでいたがとちた
考いさかたりおもしろかたちをしています。

7mm×34行

No. _____ DATE _____

テレビのニュースでこしはあめがつづいておひさまが
でなとのでやさしいがうまくそたなないというのをみました。
これもそうなのかなあ。たべられるのかなあ。よしんばい
になりました。
ママがおくらのおかかほやあえやきゅうりあさづけを
ついでくれました。あまてやさしいのあじをとてもよくかじ
ました。あめとおひさまのあじがするよなきがしました。
それからこのみちをおるたび、きょうはあるかな。どんた
おやさしいかな。とたのしみになりました。
どうぞのやさしいをつくるひとには、じつはまだ、
あたことがありません。あえたらおれいかにいたいであ
おいしく、かあにやさしいをいつもありがとう。
もりもりたべています。たべものはかんたんにはすてなけ
で、のこさずたべることここがけす。
これからもおいしいやさしいをそだててください。

ながほり あつなより

7mm×34行

関東1 ブロック

最優秀作品賞

高 学年の部

なかの ふみのり
中野 文統さん(6年)
横浜市立南山田小学校

審査員から

小説を通して培った豊かな感性を小学生とは思えない語彙力で表現した作品。
数多くの登場人物に自己投影していく自分を生き生きと描いている。

関東2 ブロック

最優秀作品賞

低 学年の部

ながほり あつな
永堀 篤奈さん(1年)
成田市立公津の杜小学校

審査員から

自然の恵みを大切に味わっている家族の情景が目に見え、天候不順の中、
野菜を作ってくれた農家の方への感謝がこどもらしく書かれている。

みんな、みんなありがとう



私は今たくさんの人にありがとうをいいたいです。
 なせかという一年前パパが急にたおれてしまっ、て救急車に
 運ばれました。
 最初はベッドです、おこはかりの毎日をすごしていました。
 短い其期間でたくさん手術もしました。
 そこから少しずつ回復して、少しずつリハビリもできるようになりました。
 パパは、つらいリハビリをたくさんや、て頑張、だから車いすものなら
 いでつえとそうぐだけ歩けるようになりました。
 パパが歩けるようにな、て家にオ、てこれるようになった1年間の間に
 本当にたくさんの人に助けてもらいました。
 手術を何回も、命をすく、てくれた澤田先生。
 パパのこ、を夜中ももす、とみてくれたおんじさん。
 パパが歩けるようにま、でしてく、れたリハビリの先生。
 今のパパの足のかわりにな、てくる大事なそうぐを作、てくれた人。
 今もパパをさ、え、ていつもはげ、ましてくれるじいじはあ、は、あ。
 私やお姉ちゃんか、さみしくなら、ないように一緒にいてくれた
 おじさんやおばさんやいとこのみんな。
 いつもいっしょにいてくれたお、はんを作、てく、れ、て遊、んでく、れる
 ママ。
 いつもいっしょにいてくれたり、あ、そ、ん、で、く、れたお姉ちゃん。
 みんな、みんなにありがとうを伝えたいです。
 パパは今でも足とか手がか、た、ま、ら、な、い、よ、う、に、重、た、か、し、た、り、の、ば、し、た、り
 しています。あと話すりハビリもしています。
 手術をしてく、れた、澤田先生は何回も命をすく、てくれたパパにと、つ、て
 命のおんじさんです。ありがとう澤田先生。
 パパ、今、ま、で、つ、ら、い、リ、ハ、ビ、リ、を、か、ん、は、ら、っ、て、歩、け、る、よ、う、に、な、ら、て、く、れ、て
 本当にありがとう。

KOKUYO

関東2ブロック

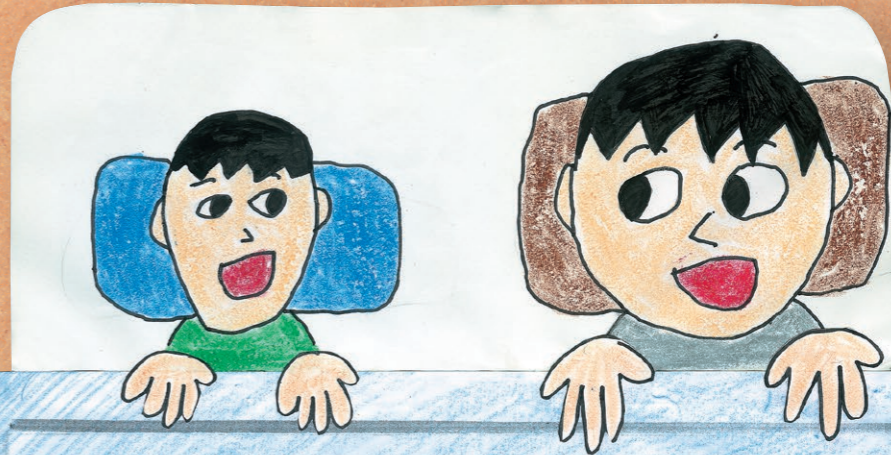
最優秀作品賞

中
学年の部

にほんまつ あみ
二本松 杏海さん(4年)
市川市立真間小学校

審査員から

父の病を支えてくれた方への感謝の手紙。まわりの方たちがどんな思いで
 寄り添ってくれたかを、深い観察力で見つめ、丁寧に表現している。



お父さんへ
 お父さんはいつもお仕事がいそがしくて
 なかなか早くお家に帰、てこれないよね。
 でもたまに仕事が早くお、つ、ま、り、て、ぼ、く、が、お、う、ま、り
 に帰、てこれた日はぼくといっしょにね、てく、れ、て
 ありがとう。ぼくはお父さんとふ、と、ん、の、中、で
 お話、する、の、が、大、好、き、だ、よ、。ぼ、く、が、先、に
 ふ、と、ん、て、入、り、て「お父さんま、て、る、ね、」わ、か、た、あ、と
 少しだけま、て、て、お、い、い、と、言、わ、れ、ま、て、る、時、も、
 わ、く、わ、く、す、よ、。ぼ、く、た、ち、は、色、ん、な、話、を、す、る、よ、ね、。
 学校のこと、休みの日のこと、サッカーのこと。この前ぼ
 くが「今日お母さんにだ、ら、し、な、い、り、て、お、こ、ら、れ、ち、た、」
 と、言、っ、た、ら「お父さんも今日お母さんに出、し、た、ら、し、ま、う、」
 と、お、こ、ら、れ、ち、た、よ、。仲、間、だ、ね、と、い、っ、て、2、人、で
 笑、た、ね、。ぼ、く、と、お、父、さん、2、人、の、男、の、時、間、が、と、
 て、も、楽、し、い、よ、。色、ん、な、話、を、し、て、い、る、う、ち、に、気、づ、く、と
 ぼ、く、は、お、ま、ま、よ、ね、。お、父、さん、い、つ、も、い、そ、が、し、く、て
 っ、か、れ、て、い、る、の、に、ぼ、く、と、た、く、山、言、話、し、て、く、れ、て、あ、り、が、た、う、。

終太より



関東2ブロック

最優秀作品賞

高
学年の部

いたがき しゅうた
板垣 終太さん(6年)
千葉市立蘇我小学校

審査員から

父と息子の温かい交流を、並んで寝る姿とともに表した作品。
 時間の許す限り一緒に寝て、話をする二人の様子がほほえましく描かれている。

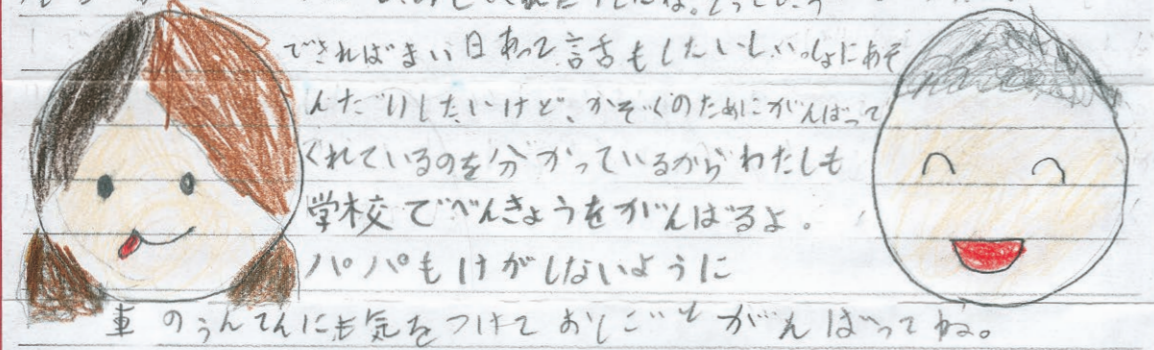


とくでおしごとをしているパパへ

いつもかそくとはなれてとあくてはかつしなから、おしごとをがんばって来て
ありがとう。一人で生かしているからおせたくやごはんもじぶんでいやっていた
いへんだね。車でごはんもかそくうんてんして、つかれるよね。金曜日のよるには
かえってきてくれたよ。ま、い日うちにいたら今日あ、たごしごとをお言
したり、いよいよごはんもたべたり、おかえり。を言っておあげられるに...

パパのしごとを一通り見に行ったとき、大きい車にのったり、さかいたつたり
して、わたしは「すごいな。」っておもったよ。ほかにもヘルメットや ヘルメットをつけてくれたり
クレーンで高いところからはしを、みせてくれたりしたね。とて、うれしかったよ。

これはまい日ある言をもしたいし、いよいよあそ
んだりしたいけど、かそくのためにがんばって
くれているのを知っているからわたしも
学校でがんばりをがんばるよ。
パパもけがしないように
車のうんてんにも気を付けておしごとがんばってね。



中部・東海 ブロック

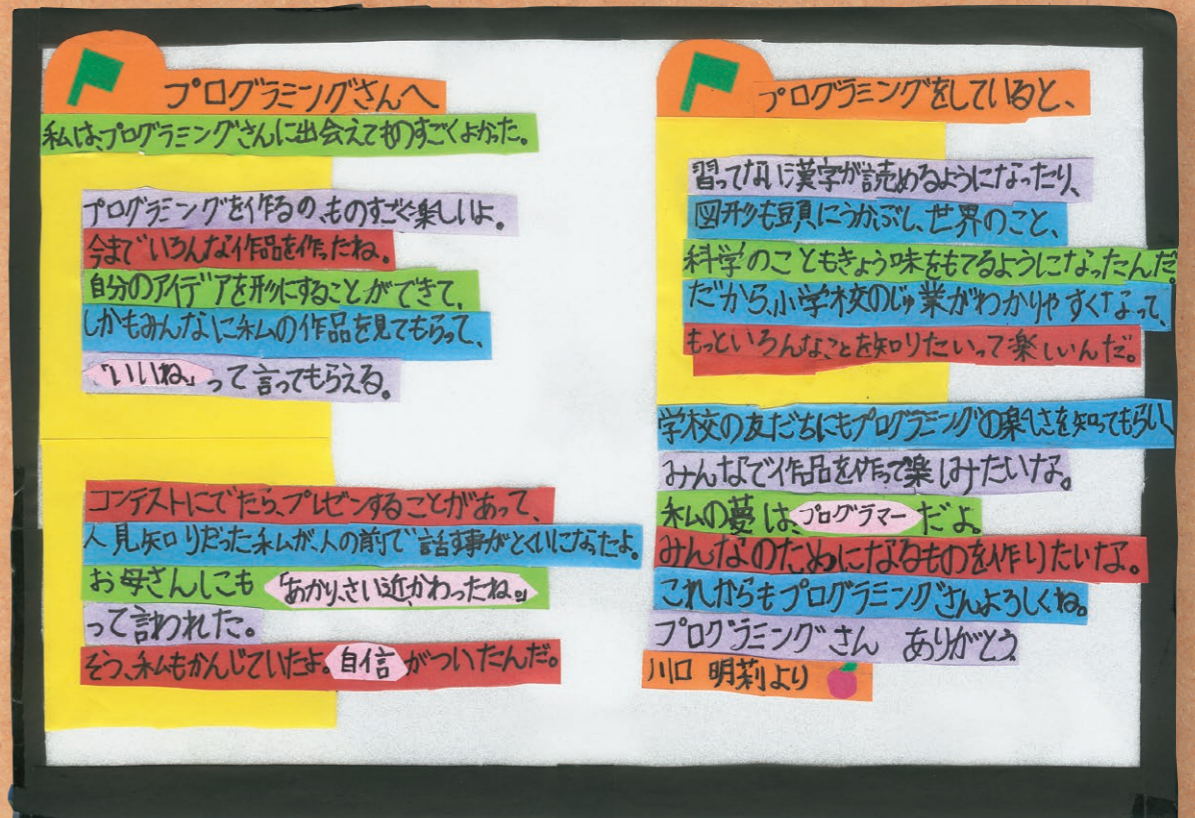
最優秀作品賞

低 学年の部

なかやま ちなつ
中山 千夏さん(2年)
浜松市立内野小学校

審査員から

単身赴任の父への思い。仕事場で働く父への尊敬や体調を思いやる気持ちも
こまやかに描かれている。家族のあたたかさを感じさせる構成もよい。



プログラミングさんへ
私はプログラミングさんに会えて初めよかった。

プログラミングを作るのものが楽しいよ。
今までいろんな作品を作ったね。
自分のアイデアを開発することができて、
しかもみんなに私の作品を見てもらって、
いいね。って言ってもらえる。

コンテストにでたらプレゼンすることがあって、
人見知りだった私が人の前で話す事がとくじなよ。
お母さんにも ありがとう近かったね。って
言われた。
そう、私もがんばります。自信がついたんだ。

プログラミングをしていると、

習って毎日漢字が読めるようにしたり、
図解も道具にかぶし、世界のこと、
科学のこともきょう味をもてるようにしたんだ
だから、小学作文の授業がわかりやすくて、
もといろんなことを知りたいて、楽しいんだ。

学校の友だちもプログラミングの楽しさを知ってもらい
みんなで作る作品を作りたいです。
私の夢はプログラマーだよ。
みんなのために作るものを作りたいな。
これからもプログラミングさんよろしくね。
プログラミングさん ありがとう
川口 明莉より



中部・東海 ブロック

最優秀作品賞

中 学年の部

かわくち あかり
川口 明莉さん(3年)
名古屋市立八社小学校

審査員から

プログラミングを学ぶことで得た新しい気付きや発見の喜びを豊かに表現しながら、
自分自身が成長したことを生き生きと描いている。

目かけてくれた身近な友達へ

去年の冬、私の心はとろろと包まれた。体は学校に行こうとしたけれど心は行こうとしなかった。私は、とても困っていた。自分ではどうすればいいのかわからなかった。たくさん困っていたころねむれなくなり、「言叶、言叶」と思っていた。そんな時、あなたは、毎日ポストにお手紙を入れてくれた。お手紙の最後に「待つよー」と書いてあった。この言葉がうれしくて、いつもまげまされた。だからその言葉を胸の中に大事にし、少しづつ学校に行こうと思えた。旧行けたらその次の日に休んでしまおうと自分のカガネをくさし学校に行った。たくさんのお言葉とお手紙に支えられて、かわいいうちが、いやしてくれた。少しづつ心の中におたまりが、けてぬように気楽になつていった。いつも一緒に遊ぶ事はないけど、私を助けてくれるあなたは、大切な存在だと思ふ。もしもあなたが困ったら、今度は私が助け支える。あの時は、本当にありがとう。

ありがとう
の花の森



さなより

中部・東海 ブロック

最優秀作品賞

高 学年の部

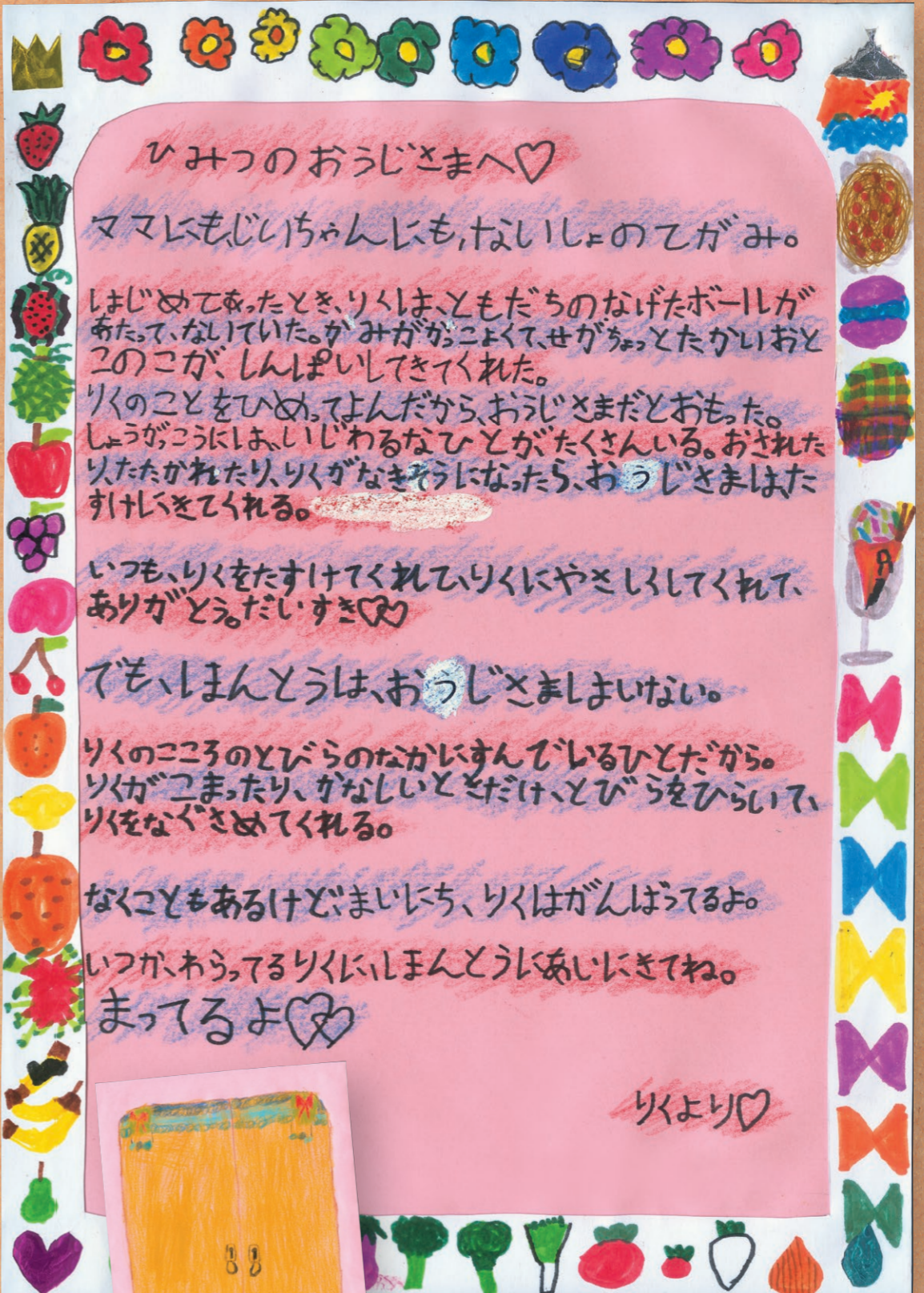
くりばやし さな

栗林 紗菜さん(6年)

安曇野市立豊科北小学校

審査員から *

自分が一番つらかったときに、気持ちに寄り添い、毎日手紙をくれた友人への感謝。客観的な視点と友人への思いがしっかりと文で描かれている。



ひみつのおうじさまへ♡

ママにもじいちゃんにも、たふししよのてがみ。

はじめであったとき、りくはともだちのなげたボールが当たって、なしていた。かみがかこよくて、せがちよとたかいおとこのこが、しんぱいしてきてくれた。りくのことをひめて、よんだから、おうじさまだとおもった。しょうが、こうは、いじわるなひとがたくさんいる。おされたり、たたがねたり、りくがなきそうになったら、おうじさまはたすけてくれる。

いつも、りくをたすけてくれて、りくにやさしくしてくれて、ありがとう。だいすき♡

でも、いまんとうは、おうじさましんぱいしない。

りくのこころのとびらのなかいすんでいるひとだから。りくがこまたり、かなしいときだけ、とびらをひらいて、りくをなぐさめてくれる。

なくともあるけど、まいにち、りくはがんばってるよ。

いつか、わらってるりくに、いまんとうは、いかにきてね。まってるよ♡

りくより♡



関西 ブロック

最優秀作品賞

低 学年の部

はりた りく

播田 莉来さん(1年)

藤井寺市立藤井寺小学校

審査員から *

物語のように一気に読まれてしまう手紙。メルヘンのような展開の最後に、自分自身のさまざまな思いを集約した秀逸な表現に驚かされる。

大好きな弟へ

5年前に生まれてきてくれたわたしの弟は、生まれつきの病気があり生まれて5日目で大病院に転院して手術を受け命が助かったね。お母さんのお腹の中にいる時から、大腸全部と小腸40cmに神経がなかったので、手術で人工こう門を作ってもらい、1才までストーマを付けて生活することになったね。お母さんは「どんな形でも生きてくれたら、それだけでいい」ととてお世話が大変だったけど、何回も入退院をくり返しながら毎日薬を飲んで、スクスクと育ってくれたね。1才の時に人工こう門を閉じて、こう門に小腸をつなぐ手術をしたね。1ヶ月位入院したけど元気に家に帰ってきてくれた時はとてもうれしかったよ。毎日一しょに遊んでも楽しい。年々入退院の回数が減って安心してるよ。わたしは、健康だから元気なのがあたり前だけど、弟はそれがなかなか大変で、今でも薬を飲み続けているけど普通にくらせることがどんなに幸せかを感じているよ。一緒にボールや風船で遊んだり、トランプしたりできてうれしいよ。時々けんかをすることもあんだけど、弟がいることがうれしいよ。これからも1日1日健康で一緒に成長していきけるように手伝うね。大人になっても困る事があるかもしれないけどお姉ちゃんが守ってあげたいと思っているよ。生まれてきてくれて、**ありがとう!**お姉ちゃんお!



関西 ブロック

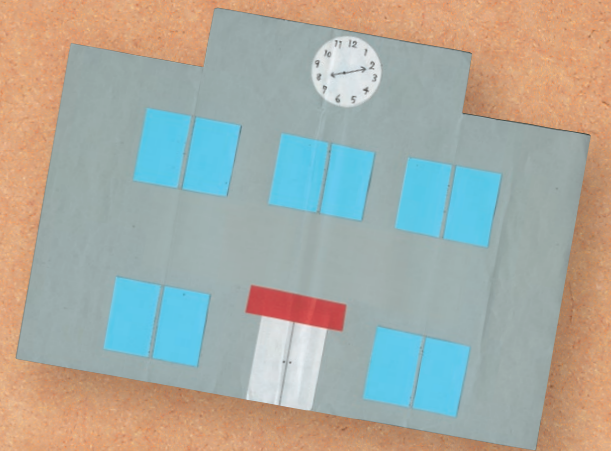
最優秀作品賞

中
学年の部

きたむら ちい
北村 千維さん(4年)
長浜市立湯田小学校

審査員から

病気の弟への思いを、誕生から現在までの出来事とともに丁寧に描いている。ともに成長していこうという決意と愛情が強く伝わってくる。



39才の校舎へ

私は来年の3月で河合第三小学校を卒業します。1年生の時、入学して初めて友達が出来た教室も、6年間金管クラブの練習で何度も何度もチューバを吹きに通った音楽室も、友達といっしょに笑って汗だくになって遊んだ運動場も初めてマシンがけをしてうまく使えすまぐにぬえなみ。たエフロンを見てはずかしかつた家庭室も、やさしい笑顔でいつも先生が見守ってくれている保健室も、ギターと歌が大好きな校長先生や、いつでも河合第三小学校のみんなの味方でいてくれる先生がいる職員室も、私達6年といっしょに卒業するね。生徒の数が少なくなったので学校がこわされて無くなってほめるのは悲しいけれど、教室の窓から見た景色、教室のにおい、学校の満開の桜の木、ずとずと忘れないう。39年間ごくりくさまでした。ありがとう。



塚本 さくら

時間割					
×	月	水	木	金	土
1	国	算	国	国	算
2	算	国	算	算	国
3	国	外	算	算	算
4	国	算	算	算	算
5	体	道	道	道	道
6	ク	ク	ク	ク	ク
15日の会					

関西 ブロック

最優秀作品賞

高
学年の部

つかもと
塚本 さくらさん(6年)
河合町立河合第三小学校

審査員から

取り壊される校舎への感謝を、先生、友人と過ごした数々の思い出を軸に表現している。一人一人の表情が浮かぶ豊かな描写をしている。



中国・四国 ブロック

最優秀作品賞

低 学年の部

せがわ れみ 瀬川 礼美さん(2年)
 徳島文理小学校

審査員から

通学で使うバスの運転手さんへの感謝の気持ち。毎日の自分を支えてくれること、安心して学校に通うことができることの喜びをこどもらしく表現している。

まだ言えてないけどありがとうと
 言いたい人へ

私は支援学級に通う小学4年生です。私は人と会話をするのが苦手です。去年は普通級の友達が1人もできませんでした。

私はあんまりわらわないし、あいさつもしないので、いつもお母さんに、「もっとあいさつをしてニコニコしなさい」とおこられます。

4年生になっても、友達ができないと思っていました。でも、春の運動会でソーラン節をおどるときに、クラスの人達がやさしく話しかけてくれたり、教えてくれたりしました。それから夏の山の学校でもみんなのおしゃべりをたのしく聞けました。

支援級の友達は、授業中でも私が困ると助けに来てくれます。先生たちも、私がうまく言えなくても苦手なことをわかってくれたり、授業について来たりしてくれます。

やさしくしてくれてうれしいのになかなか言えないけど、クラスの人にも、友達にも先生にもわらって「ありがとう」と言いたいです。

中国・四国 ブロック

最優秀作品賞

中 学年の部

かたやま みちる 片山 弥千瑠さん(4年)
 岡山市立宇野小学校

審査員から

自分の苦手なこと、困ったことをさりげなく支え、助けてくれる友人、先生への感謝の気持ち。しっかりとした文章と言葉で素直に表現している。

おじいちゃん おばあちゃんへ

夏休みに体を無理して私と約束した北海道旅行に連れて行ってくれてありがとう。

6月の初めママから「おじいちゃんの頭に病気が見つかり検査しているから旅行に行けるかどうか分からなくなっちゃった」と言われた時、頭が真っ白になりました。その時は病気の事はよく分からなかったので旅行の事しか頭になく検査で病院に行く度「どうだった?旅行に行ける?」と旅行の事はかり心配していました。

両親から病気の説明があり初めて脳しんようという病気について聞き大変な病気だと知り心配でたまらなくなりました。まだ記おくかあるうちに皆で旅行に行こうと前向きに治療を頑張ってくれたおじいちゃん、支えてくれたおばあちゃん本当にありがとう。雨の予報だったけどほとんど雨もなく、見えないかもしれないと言われた動物も見えて本当に奇せきだったと思います。どうかおじいちゃんの体にも奇せきが起こりますように。たくさんとった写真、アルバムに残すと共に私の心のアルバムにもたくさん写真を残せました。宝物です。

おじいちゃんおばあちゃん大好きです。いつまでもいつまでも長生きしてください。ありがとう。



中国・四国 ブロック

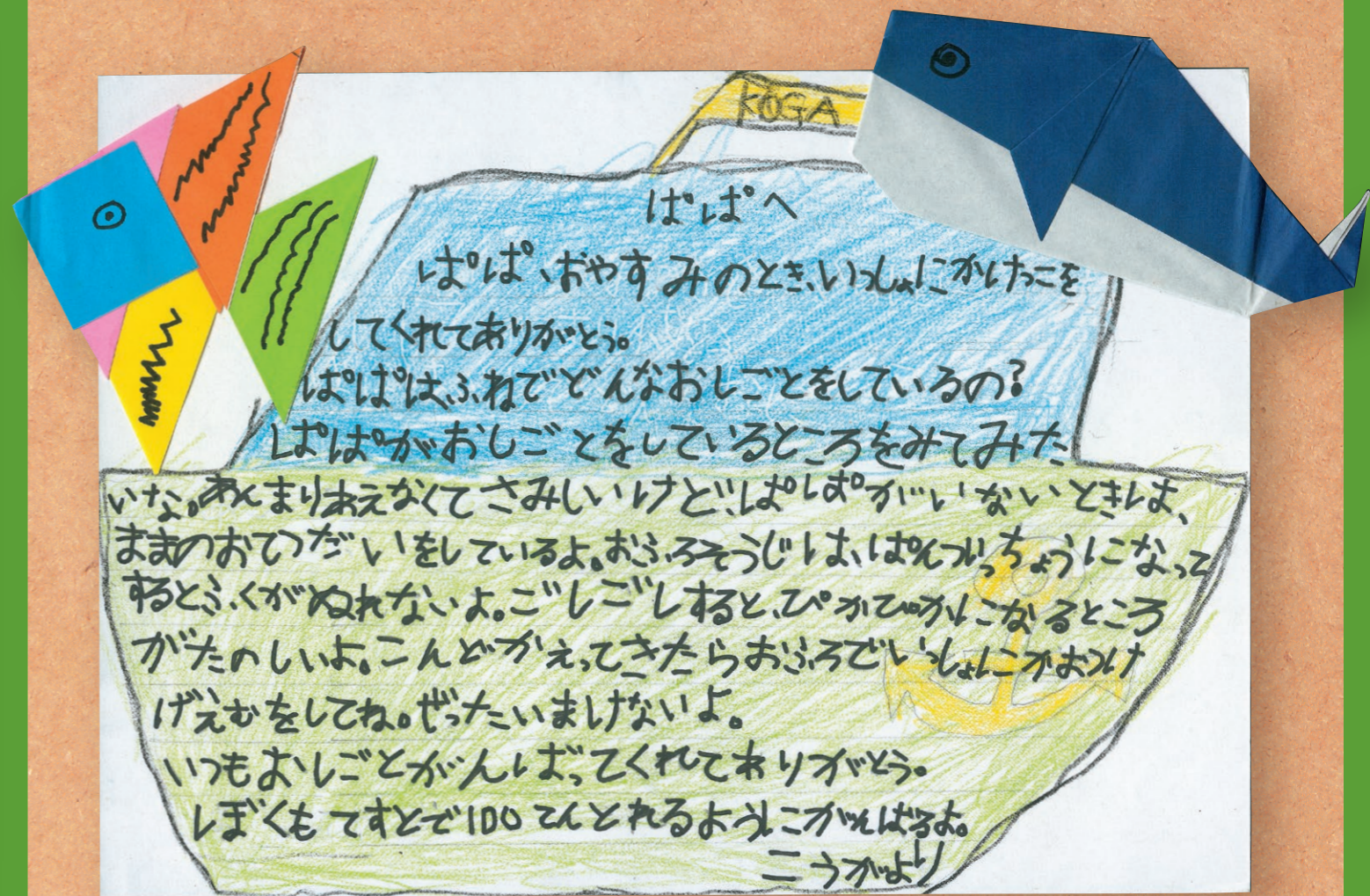
最優秀作品賞

高学年の部

おかだ みさき
岡田 美咲さん(6年)
徳島市立川内北小学校

審査員から

家族旅行を前に祖父の病を知ったことから、自分の気持ちの変化を見つめ、新しい視点で旅行の意義をとらえ、家族に感謝する気持ちを表現している。



はばへ

はば、おやすみのときいぬにかたこをしてくれてありがとう。

はばはふねでどんなおしごとをしているの?

はばはおしごとをしているところをみてみた

いた。あまりおえなくてさみしいけどはばはかいいいときれよ、ままのおていぎをしているよ。おぶろそうじははばが、ちよになつておとぶくがぬれないよ。ゴレゴレすると、ピカピカになるところがたのしいよ。こんどがえってきたらおぶろでいしにカキつけえむをしてね。ぜったいまけないよ。

いつもおしごとがんばってしてくれてありがとう。

はばくもてすとで100とれるようにがんばるよ。

こうがより

九州・沖縄 ブロック

最優秀作品賞

低学年の部

いしもと こうが
石本 航雅さん(1年)
鹿島市立鹿島小学校

審査員から

船に乗っている父への感謝。母を手伝って風呂掃除をする自分の日常の姿を生き生きと伝えることで、家族のために働く父への思いを表している。

ボクのお母さん

ボクの家族は、7人家族です。お父さんは、
 仕事で、家にいません。お母さんが、ボク達5人を、
 一人で育ててくれています。ボクのお母さんが、
 「乳がんになりました。」
 お母さんが、余命を、伝えられた時は、先の見え
 ない真っ暗なトンネルを、歩いているような気持ち
 でした。「健康あれば、なんでもできる、健康のありがた
 さを大事にしてね。」とお母さんがよく言います。
 毎年、七夕の日に、たんざくに、お願い事を書く
 お願いがかなうと聞きました。ボクは、たんざくに、お願い
 事を書きました。「がんが、てんいしませんように、いたみを、
 やめらげて下さい」と。残された時間という不安で
 じか、折れそうになることもあっても、お母さんは、
 ボク達のために、「笑顔」です。ボクは、まだ、身体は
 小さいですが、心は、だれにも負けません。
 ボクは、お母さんを、支えます。
 「ありがとう、感謝の気持ちで、いっぱいです。」
 大好きです。

お母さんへ



私が小学校に入学して6年。後半でもう卒業だね。
 家の前の道路が通学路だけと車の交通量がとても多いよね。
 特に朝の登校する時間帯が多外から入学した時に心配だね。
 危ないなあとお母さんが言っていたのを覚えているよ。それから6年。毎朝、
 私が学校に行く時、ギュッとたきしめて車に気を付けてね。今日も1日が
 がんばろうね。」と声をかけて送り出してくれているよね。私の姿が見えな
 くなるまでずっと見ていてくれて、曲がり角でふり返ると笑顔で両手をふっ
 ついているね。まるで「行ってらっしゃい」「いつかまた」と会話をするみたいにお
 たがいに手をふり合うのも6年間、毎日続いているね。おかげで私は、気持ち
 よく学校に登校する事ができているよ。ありがとうね。夕飯を食べて
 ながら学校やお友達の事を話すと、じっくり話を聞いてくれて、なやみがある
 時には、一緒に悩んで解決する方法を考えてくれるよね。私は一人じゃないだ
 なあと思えてとてもうれしいよ。夜ねる時には朝と同じようにギュッとたきしめて
 今日一日元気に過ごせたね。ありがとうね。」と言ってくれるよね。私や弟をい
 はいはいギュッと大七羽に想ってくれてありがとう。たくさん愛情を

感じているよ。私は幸せです。 高山紗希より



九州・沖縄ブロック

最優秀作品賞

中
学年の部

かわみつ てんしょう
川満 天翔さん(4年)
沖縄市立宮里小学校

審査員から

病気の母への深い愛情を手紙に綴る。遠くで働く父に代わって
 5人のこどもを支えている母への思い、七夕の短冊に書く願いごとの言葉が胸をうつ。

九州・沖縄ブロック

最優秀作品賞

高
学年の部

たかやま さき
高山 紗希さん(6年)
始良市立始良小学校

審査員から

毎朝抱きしめてくれる愛情深い母への気持ち。どんなときも自分を見守り、
 困ったときは手を差し伸べてくれるという絶対的な信頼感に心打たれる。

ファミリーマートは「ありがとうの手紙コンテスト」をはじめとして地域社会とともに次世代育成に取り組めます!

ありがとう

ファミリーマート ありがとうの11th 手紙コンテスト

ありがとうの手紙コンテストは、子どもたちの健全な成長、豊かな心づくりを目的とした次世代育成の取り組みです。「感謝の気持ち」は人と人とのコミュニケーションの基点となり、地域社会活性化へと寄与します。2009年からスタートして累計36万通の「ありがとう」が全国から寄せられました。また、2019年度は文部科学省後援事業となった他、過去の受賞作品が2社の道徳の教科書（2018年度）に掲載され、学校教育にも活用されています。最優秀作品賞の表彰式は、受賞者が通う小学校で、ご家族や近隣店舗の店長、ファミリーマート社員も参加して開催されます。子どもたちの感謝を地域の方々に知ってもらい、たくさんの「ありがとう」を届けるため、受賞作品を店頭や店内放送で紹介しています。



ファミマ子ども食堂

ファミリーマートは地域社会の交流促進の場として、2019年4月から地域の子どもたちと保護者に参加いただける「ファミマ子ども食堂」を開催しています。地域の方が共にお食事をしながら、店内ツアーやお買い物体験のプログラムを通じて、楽しく交流する機会をご提供しています。ファミリーマートは地域社会の一員として子どもたちの安全だけでなく成長も見守っていきます。



ベルマーク運動への参加

2008年からベルマーク運動へ参加し、学校の設備や教材支援に取り組んでいます。販売するおむすび全品にベルマークをつけるだけでなく、店頭でベルマーク回収も行っています。お預かりしたベルマークは店舗最寄りの小学校へお届けし、地域貢献に取り組んでいます。



企業訪問／出前授業

中学生や高校生を対象に「企業訪問」や「出前授業」の受け入れを行っています。「コンビニが地域社会で果たす役割」や「職業講話」など、学校や学生が関心のあるテーマについてファミリーマート社員がわかりやすく講義し、学ぶ機会を提供しています。



ベルマークによる被災地支援

災害によって大きな被害を受けた小学校にベルマークを寄贈し、被災地支援を行っています。店頭、ファミリーマート本社、食品製造委託工場などで集められたベルマークは点数を集票し、各小学校へお渡ししています。2019年度は10校の小学校に合計21万点を寄贈し、学校設備の充実にお役立ていただきました。



こども店長／職場体験

店舗で楽しみながら社会のしくみを学んでもらうための取り組みです。ユニフォームを着用して、レジや袋詰めといった接客体験をしたり、商品を選びやすいように並べるなど、ファミリーマートの仕事を体験していただけます。



ファミリーマート夢の掛け橋募金

募金していただいたお客さまと、社会的活動を行うNGO/NPO団体との「掛け橋」になり、地球と子どもたちのために活動を行いたいという想いからはじまった店頭募金「ファミリーマート夢の掛け橋募金」。1993年からの累計金額は約65億円となりました。お預かりした募金は企業寄付を加えて3団体に寄付し、次世代育成支援・環境保全の5つの事業に役立てられています。また、災害時には被災地支援募金として被災地域にお届けしています。



森の教室

国土緑化推進機構が主催する「森の教室」を夢の掛け橋募金によって支援しています。森のすばらしさ、森が果たす役割を園児が学ぶことができる全国循環型のこのプログラムでは、自然の大切さを学んだ後、園児が植えて大切に育てたどんぐりの苗を植樹するところまで行います。2012年からはじまった「森の教室」の開催回数はこれまでに220回を超え、約2万4千人の子どもたちが参加しています。



国連WFP学校給食支援

「世界の飢餓を撲滅する」ために活動する国連WFP協会を2006年から継続的に支援しています。2016年からは「ミャンマー連邦共和国における学校給食支援」に寄付し、ミャンマーの子どもたちの成長を支援しています。



© WFP / Gaurab Tewari



セーフティステーション

地域社会の安全・安心を提供する拠点として、子どもたちを見守るお手伝いをしています。

